

平成23年度全公立学校における負担感軽減に向けた
取り組み（全校プロジェクト）について（取組概要）
～ 中学校 ～

1 対象校及び回答状況

（平成23年8月31日現在）

全178校全てで負担感軽減に向けた取り組みを実施。（県立中学校3校を含む）

《県内の地域別中学校数》

熊本市教育委員会	42校
宇城教育事務所管内	11校
玉名教育事務所管内	16校
鹿本教育事務所管内	6校
菊池教育事務所管内	12校
阿蘇教育事務所管内	13校
上益城教育事務所管内	8校
八代教育事務所管内	19校
芦北教育事務所管内	9校
球磨教育事務所管内	16校
天草教育事務所管内	26校
合 計	178校

△分校1校は、本校を含む

2 取組状況

(1) 必修取組事項

「ア ノー残業デー、ノー部活デーの実施」、「イ 一人一改善運動の推進」のうち、1つ以上取り組むもの。

表1 取組状況（必修総括）

項 目	実施校数
ノー残業デー・ノー部活デー（ア）	91校（51.1%）
一人一改善運動（イ）	4校（2.2%）
両方とも（ア・イ）	82校（46.1%）
両方とも取り組んでいない	1校（0.6%）
合 計	178校（100.0%）

① 「ア ノー残業デー、ノー部活デー」の実施状況

ア) 取組内容

「ノー残業デー、ノー部活デー」に取り組んだ学校173校※1の取組内容は、下表2のとおり。

※1 「ノー残業デー・ノー部活デー」91校 + 「両方とも」82校

表2 取組内容（ノー残業デー・ノー部活デー）

項 目	実施校数
ノー残業デーのみ	9校 (5.2%)
ノー部活デーのみ	51校 (29.5%)
両方とも	105校 (60.7%)
その他（定時退勤など）	8校 (4.6%)
合 計	173校 (100.0%)

イ) 実施回数等

表3 実施回数（ノー残業デー・ノー部活デー）

項 目	実施校数
週1回（実施日未設定）	67校 (38.7%)
週1回（月曜日）	47校 (27.2%)
週2回以上	8校 (4.6%)
その他（月に1回他）	51校 (29.5%)
合 計	173校 (100.0%)

② 「イ 一人一改善運動」の実施状況

「一人一改善運動」に取り組んだ学校86校※2の取組内容(例)は、以下のとおり。

※2 「一人一改善」4校 + 「両方とも」82校

【取組み例】

（業務改善）

- ・ 報告文書等の提出物を教頭が一元管理することで内容を把握するとともに、パソコン入力が苦手な職員の負担を軽減する。
- ・ ワードやエクセル等の技能の共有化をはかり、早めの文書作成と早めの取り組みにより仕事にゆとりを持たせる。
- ・ 文書作成の形式等でデータの共有化を図り、作成業務を簡略化する。

(環境改善)

- ・ 机上の整理、書類の確実なファイリング整理と引き継ぎにより、効率的な業務を促進する。
- ・ 日頃から、業務処理効率化のための「意識化-気づき-協議-個人で決定」の流れを定着させる。

(意識改善)

- ・ 毎月、全員に勤務時間調査集計表を提出してもらい、各自でも時間管理を行う。更に、全教職員が担当する業務の見直しを行い、簡素化を図る。
- ・ 会議提案の案件について、前年度会議資料に一カ所は変更点を書き込み提案を行う。

(2) 自由取組事項

各学校の状況に応じて、自由に取り組むもの。

ア 学校運営（行事の見直し、会議・委員会の見直し、和やかな雰囲気づくり、年次有給休暇の取得促進など）

・・・ 165校

イ 業務改善（校務分掌や業務の改善、外部からの依頼業務の見直し、校務のICT化推進など）

・・・ 165校

ウ その他（「ゆとり月間」設定、休業中の早めの退勤推進など）

・・・ 147校

表4 取組状況（自由総括）

項目	実施校数
ア 学校運営の改善のみ	2校 (1.1%)
イ 業務改善のみ	3校 (1.7%)
ウ その他	3校 (1.7%)
アとイ	26校 (14.6%)
アとウ	8校 (4.5%)
イとウ	7校 (3.9%)
ア、イ、ウ	129校 (72.5%)
合計	178校 (100.0%)

表5 取組項目数別学校数

項 目	
2項目以下の取り組み学校	26校 (14.6%)
3項目取り組んだ学校	43校 (24.2%)
4項目取り組んだ学校	44校 (24.7%)
5項目取り組んだ学校	45校 (25.3%)
6項目以上に取り組んだ学校	20校 (11.2%)
	178校 (100.0%)

① 「ア 学校運営」に関するもの

「学校運営」改善に取り組んだ学校165校※3の取組内容(例)は、以下のとおり。

※3 表4より「ア」2校+「アとイ」26校+「アとウ」8校+「ア、イ、ウ」129校

【取組み例】

ア 学校行事の見直し

- ・ 体育大会実施時期を変更し、内容の簡素化や準備期間の短縮を図る。
- ・ 土日2日間で実施していた文化発表会を金土とした。
- ・ 職員研修については精選して実施する。行事は原則として勤務時間内で計画立案する。

イ 会議・委員会等の見直し

- ・ 毎月の職員会議・運営委員会を2ヵ月に1度の実施に変更。各部会等の話し合いを時間割の中で行い、放課後の会議の削減を図る。
- ・ メンバー、役割の重複が多い委員会等は統合する。
- ・ 毎週火曜日の職員研修(校内研修及び職員会議)の実施時間の再確認と時間内終了目標を数値化する(全会議の時間内終了90%を目指す)。

ウ 年次有給休暇等に関する見直し

- ・ 年間10日以上取得目標設定。時間単位での年休の取得の推進。
- ・ 授業の入れ替え等で年休取得の推進。

② 「イ 業務改善」に関するもの

「業務改善」に取り組んだ学校165校※4の取組内容(例)は、以下のとおり。

※4 表4より「イ」3校+「アとイ」26校+「イとウ」7校+「ア、イ、ウ」129校

【取組み例】

ア 校務分掌・業務の見直し

- ・ 部活動を2人体制にし、交代で指導にあたることで顧問の定時退勤に取り組む。また、各部後援会長を集め、部活動指針や規約の周知・徹底を図った。
- ・ 実際の教育活動に反映していない諸計画等は廃止又は統合を検討する。(スクラップ・アンド・ビルド)
- ・ 学校支援コーディネーター活用による連絡業務の簡素化を進める。
- ・ 各業務の担当を複数にして、一人に集中しないよう分散を図る。

イ 外部から依頼される業務の見直し

- ・ 生徒の作品について、学校選択、家庭・生徒選択を実施。
- ・ P T A 関連の行事・事務の削減(時間設定・回数等の見直し、P T A の主体性を尊重)。

ウ 校内LAN、校務支援システムの活用

- ・ 各種文書の様式や入力の際の定型文等を共有し、資料作成時間を短縮する。
- ・ 校務支援システム(ゆうnet)により休暇申請・旅行申請・復命等を簡略に行う。
- ・ 成績処理のデータを職員共有パソコン(LANつき)に保存して、全職員のデータをそこに集約して効率化を図る。
- ・ 台風や不審者等の情報の保護者への通知・連絡を携帯電話に配信する。

③ 「ウ その他」に関するもの

「その他」改善に取り組んだ学校147校※5の取組内容(例)は、以下のとおり。

※5 表4より「ウ」3校+「アとウ」8校+「イとウ」7校+「ア、イ、ウ」129校

【取組み例】

ア ゆとり期間の設定

- ・ 8月11日～8月22日は、部活動・学習会等入れない
- ・ リフレッシュ休暇として(特別休暇、年次有給休暇と土日を合わせて連続5日間)を取得できるように部活動や研修の日程を工夫する。

イ 定時退勤の推進

- ・ 夏季休業中は、勤務時間を役所と同じに割振り変更し定時退勤を促す。
- ・ テスト前の部活動中止期間中に定時退勤日を設定する。
- ・ エコチェック表・退勤時間表の記入による省エネ・健康管理の推進。(退勤時間表に職員室施錠時間を記入し、勤務状況を把握して定時退勤を促す)

ウ その他

- ・ 「負担感」から「やりがい」への意識の転換（業務に前向きに取り組むプラス思考の発想の声掛け・啓発を行う。）
- ・ 学年主任を中心に年次有給休暇を取りやすくするための声かけの実施。